

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2024/4/15
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	富士通Japan株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1947年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		76年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2(汐留シティセンター)
	事業所数(国内、国外)		本社・営業拠点・事業所: 国内69カ所		
	主な事業所の所在地	北海道、東北、関東、信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄			
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	自治体、医療・教育機関、および民需分野のソリューション・SI、パッケージの開発から運用までの一貫したサービス提供。AIやクラウドサービス、ローカル5Gなどを活用したDXビジネスの推進。
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	窪田 雅己(Masaki Kubota)
			代表者写真	選択	
			代表者年齢		
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		
7	役員	役員数		選択	5名
		役員氏名及び役職名			代表取締役会長 CEO 窪田 雅己(Masaki Kubota) 代表取締役社長 COO 長堀 泉(Izumi Nagahori) 取締役シニアアドバイザー 広瀬 敏男(Toshio Hirose) 常勤監査役 鈴木 伸二(Shinji Suzuki) 監査役 青山 兼三(Kenzo Aoyama)
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	連結:10,000名(2024年4月時点)
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	552,758,000,000(2023年3月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	41,325,000,000(2023年3月期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	¥12,220,000,000
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況 該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	①
17		決算公告 決算公告の実施の有無	選択	実施: 電子公告 掲載される貸借対照表、損益計算書およびその他の法律上定められた公告は、定款第5条の定めに基づき、ホームページ上に掲載することにより行っております。ただし、やむを得ない事由により長期間ホームページ上に掲載することができないときは、官報に掲載いたします。
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成 大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	
19	取引関係	大口取引先 大口取引先の名称	選択	
20		主要取引金融機関 主要取引金融機関の名称	選択	
21		所属団体 所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員 コンプライアンス担当の役員氏名	選択	
23		専担の部署・会議体 コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	部署: 有『法務・リスク・コンプライアンス部』 委員会: 有『リスク・コンプライアンス委員会』
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備 情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	情報システムセキュリティ規程等の文書にて規定しています。
		上記の書類の経営陣による承認の有無		経営陣の承認有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備 勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	選択	
		上記の書類の経営陣による承認の有無		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	必須	SMSプロセスフロー他
		上記の書類の経営陣による承認の有無		経営陣の承認無し
- サービス基本特性				
27		サービス名称 申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	Fujitsu グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	1997/7/1
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		有 (2002/5/21、2002/11/26、2003/9/1、2004/6/15、2004/11/15、2006/2/20、2011/6/24、2012/2/24、2014/7/1、2019/2/1、2021/7/21、2022/5/30)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
29	サービス内容	サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	必須	Webを活用して手軽に情報共有が実現できるASP/SaaS型のグループウェアです。企業内や企業間での業務/情報の共有、社外からの情報収集に利用できる各種機能(掲示板、会議室、ライブラリ、スケジュール管理、施設予約、ワークフロー、回覧板、ドメイン取得維持管理、DNSサーバ維持管理)を提供します。運用開始後も電話、メール、Webサイトからの情報発信による多彩なサポートを実施しております。今後も、豊富な実績から得たノウハウとお客様からのご要望を活かし、より使いやすいサービスを提供してまいります。
31		サービスのカスタマイズ範囲	必須	有 デザインの変更、入力/表示項目の拡張などを自由に行えます。
32	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	変更時: 1ヶ月前 終了時: 12ヶ月前 管理者様向けのWebサイトならびにメールによって告知いたします。
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無: 但し、契約条項ならびにサービス仕様書記載内容に準拠し、双方での別途協議により、同等サービスへの移行支援を行います。 無: 但し、契約条項ならびにサービス仕様書記載内容に準拠し、双方での別途協議により、同等サービスへの移行支援を行います。 無: 但し、契約条項ならびにサービス仕様書記載内容に準拠し、双方での別途協議により、対応します。
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	有: メール、問合せフォーム、電話による受付を実施 電話による受付は9:00~17:00(弊社営業日)
35		課金方法	必須	従量部分の課金は有りません。 基本機能、オプション機能の利用数により課金致します。 初期契約数を超える場合には、追加契約が必要です。
36	サービス 料金	料金体系	必須	初期費用なし オプションサービス、代行サービス、操作説明サービスは別途、初期費用が発生致します。 基本料金として、下記の料金を毎月お支払いいただきます。 ・WebOffice 基本サービス 20ID:4,620円~ ・オプションサービス、代行サービス、別途、月額利用額が発生致します。 ご契約後、1か月単位での契約が可能です。
37		解約時ペナルティ	必須	無し
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	有: 1ヶ月前のお申込みが必要です。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	期 間: 2023年4月1日 ~ 2023年3月31日 稼働率: 99.993%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2、対策参照値99%以上
		サービス停止の事故歴		2023年度の実績では、サービス障害が1件発生いたしました。(ハードウェア障害:0件、ソフトウェア障害:1件)
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	監視エージェントによって、各サーバリソースの負荷状況を5分インターバルで確認している。問題が発生した場合、オペレータ通知を行う。
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		インターネットを経由して自動でアプリ操作を実施し、レスポンス値を監視している。所は、検知場所はサービス監視室で、インターバルは5分。異常を検知した場合、オペレータが手順に従い実際の操作を実施した上で、システム管理者に通知する。
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	サーバのCPU利用率70%、ロードアベレージ5以上に定期的に達した場合、サーバ増強計画を策定し半期単位で増強実施。
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	ISMS取得(JQA) 認証登録番号JQA-IM0159 ITSM取得(JQA) 認証登録番号JQA-IT0088
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	お客様の本人確認のための情報、お客様に対して当社が発行する利用者ID/パスワード通知書に記載する情報、お客様との契約、契約更改、連絡先情報などに利用致します。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	Webサーバ、APサーバ、DBサーバ
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		年1回及び構成変更都度を実施。対策が必要な場合は、その都度対応(パッチ適用、ソフトウェアのポート番号変更等)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	バックアップ専用サーバを設置し、日次処理でバックアップを実施しています。
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	バックアップデータは2世代管理となっています。
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	ASPIC主催「ASP・ITアウトソーシングアワード2006」ノミネート賞受賞
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	契約書に添付
49	サービス利用量	利用者数	選択	
50		代理店数	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	主要ソフトウェアの名称	必須	Fujitsu グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	Webを活用して手軽に情報共有が実現できるASP型グループウェアです。 ○ トップ画面の画像変更やレイアウト変更も自由に可能 ○ 掲示板など閲覧ログも画面で確認可能 ○ カスタマイズや権限設定が豊富なスケジュール ○ カスタマイズや権限設定が豊富な施設予約 ○ 自由なフォーム画面作成によるワークフローも可能
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	富士通Japan株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		無し
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	一定の間隔で死活監視を実施しています。
		障害時の利用者への通知時間		障害が発生した場合、下記のとおりご利用のお客様へ通知いたします。 当社営業日の9:00から17:00の間に発生した障害:60分以内 上記以外の時間帯に発生した障害:120分以内
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	障害監視を実施しております。
56		時刻同期	必須	NTPIによる時刻同期を実施しています。
57		ウイルスチェック	必須○	ウイルスチェックは常時実施しています。 また、ウイルス対策ベンダーから新たなパターンファイル(ワクチン)が公開されていないかどうかの確認を毎時実施しています。
58		記録(ログ等)	必須○	利用状況(ログイン/ログアウト)ログや、例外処理(エラー発生等)に関するログを取得しています。また、取得したログは原則として3ヶ月間保管します。
59		セキュリティパッチ管理	必須○	3ヶ月以内で適用します。
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	お客様がサービスへの接続に利用する回線等につきましては、当サービスのご提供範囲外となっておりますので、別途ご用意頂く必要がございます。なお、お客様ご利用環境(回線/パソコン)等の問題により、サービス利用に支障が発生いたしましても、責任は負いかねますので、ご了承ください。
61		推奨帯域	必須	無:グローバル側通信における帯域についてはユーザーが利用されるサーバータイプによって異なりますが、実際の速度についてはベストエフォートでの提供となります。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	Webブラウザ Microsoft Edge最新版(IEモードはサポート対象外です) Google Chrome最新版
		利用するブラウザの種類	必須	Webブラウザ Microsoft Edge最新版(IEモードはサポート対象外です) Google Chrome最新版
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	各サーバにおいてニフクラで提供している「ファイアウォールグループ」を設定することで不正アクセスを防止しております。
64		不正侵入検知	必須	ニフクラのサービス管理のためのネットワークはユーザーのサービス利用のものとは分離しています。また、必要な通信のみを許可し、ウイルス対策ソフトや不正アクセス検知装置、迷惑メールフィルタ等の技術的な対策を実装しています。
65		ネットワーク監視	選択	監視対象外(責任範囲外のインターネット回線のため)
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有
67		ユーザ認証	必須○	ID/パスワードによる認証となります。
68		管理者認証	必須○	有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	パスワード規約の整備、アクセスログ採取を実施しています。
70		その他セキュリティ対策	選択	
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	専用
72		所在地	必須	日本・関東地域
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須
	免震構造や制震構造の有無		耐震構造、免震構造	
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	UPS有り、供給時間は非公開
75		給電ルート	必須	電源は冗長構成を有しています
76		非常用電源	必須	有り: 連続稼働時間は非公開
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	有り: ガス系(窒素ガス)
78		火災感知・報知システム	必須	有り(超高感度煙感知器)
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	有り(避雷針)
80		誘導雷対策	必須	有り(避雷器設置)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
81	空調設備	十分な空調設備 空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	・空調設備は24時間365日で適切な稼働可能であり、停電時においても無停止で稼働継続可能 ・集中監視 ・災害時の継続運転 ・水漏れ委検知が可能
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有: データセンター及び、本社では、入退館、指定エリアへの入退室が可能な従業員を限定しており、厳格な本人認証の上、持ち込み品の制限、記録の取得などの入退室管理を行っています。
		監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有り: 監視カメラを設置し、稼働時間と監視範囲を定めて監視しており、映像をあらかじめ定められた期間保存しています。保存期間は非公開
		個人認証システムの有無		有り
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有り
		保管管理手順書の有無		有り: 富士通グループの規定に則り実施しています。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	サービス窓口に関しましては、ご契約後にお客様へご通知申し上げます。
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		なし
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	電話による受付は9:00~17:00(弊社営業日)
		メンテナンス実施時間		あらかじめお客様に通知した上で実施しますが、緊急の場合はその限りではありません。
87	サービス窓口(苦情受付)	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	
		放棄率の実績値(単位:%)		
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	当サービスにおける利用/操作方法等のQAやログ調査依頼に対するQA及び障害等のトラブル対応を行います。
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、メール、Webサイトによる情報公開等、多様なサポートを提供します。
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	利用者アクセス関連サーバに対する負荷分散及び、データベースサーバ/アプリケーションサーバの冗長化を行っています。
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	当サービスにおける事故責任範囲、補償範囲に関しましては、サービス仕様書ならびに契約の条項に記載しております。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0003-0805, サービス名称: FUJITSU グループウェア AZCLOUD SaaS WebOffice, 事業者名称: 富士通Japan株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	サービスに関するメンテナンス作業を行う際は、原則として2週間前にメールでご通知申し上げます。また、サポートサイトでの告知も同時に実施します。
		告知方法		メールならびにサポートサイトで告知いたします。
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有: 但し、セキュリティ事象などのメンテナンスの緊急性がある場合に限りです。
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無: 但し、サービスの稼働状況や障害発生履歴等はサポートサイトで常時ご確認頂けます。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。